

## ディスコグラフィー収載

### ディスコグラフィー【2025No.204】(HP 収載)

分類：DVD

作曲家：J.S.バッハ

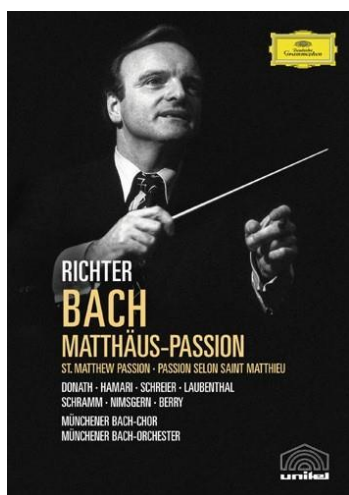
曲名：マタイ受難曲 BWV244

演奏：カール・リヒター指揮ミュンヘンバッハ管弦楽団

発売：ドイツグラモフォン

No.：UCBG 9155/6

概要：



#### 【出演】

ペーター・シュライアー (テノール) [福音史家]

エルンスト・ゲロルド・シュラム (バス) [イエス]

ジークムント・ニムスゲルン (バス) [ユダ、ペテロ、大祭司、ピラト]

ヘレン・ドナート (ソプラノ)、ユリア・ハマリ (アルト)、ホルスト・ラウベンター  
ル (テノール)、ヴァルター・ベリー (バス)、ミュンヘン少年合唱団、他  
ミュンヘンバッハ管弦楽団・合唱団

#### 【指揮】

カール・リヒター

#### 【演出】

フーゴー・ケッヒ

#### 【制作】

1971年5月 ミュンヘン

1971年の収録で映像画面が狭いので、TV用のアナログ映像からのリマスターだと思われる。

シュライアーのテノール始め、ソリスト達の歌唱は1971年の収録とは思えないほど明晰です。オーケストラの弦や木管も1971年の収録とは思えないほどしっとりと聴かせますし、ノンヴィブラートのヴァイオリンのソロも艶やかで合唱も予想外に濁りがありません。また、オルガンやチェンバロもクリアーで、リヒター自身がチェンバロの弾き振りを行うシーンもあります。

リヒターは、これまでのパッケージメディアや配信で感じていたとおり、毅然として端正な指揮で、バッハの真髄はかくあるべしという演奏です。

今回の再生はCDアンチスタティックを貼ったDMR-UBZ1で行いましたが、上記の印象は、多分にCDアンチスタティックの効果と思われます。

以上